

生産性向上に向け 課題解決をサポート

松文産業株式会社

代表者名 / 小泉 信太郎

業 種 / 合繊織物製造業

所 在 地 / 勝山市

事業内容 / 婦人向けブラックフォーマルを中心に、ミセスやメンズなど各種衣料用の合繊織物生地の開発・製造

❖事業を活用した経緯等

当社は、創業110年余りとなる、福井の地場産業を代表する老舗の合繊織物生地メーカーである。ボリュームの拡大が望みにくい厳しい環境の中、新素材の開発に積極的に取り組み、産業資材用高機能生地の量産化にも成功しているが、生産性の向上が必須の課題となっていた。そこで、ベテラン社員から若手社員への世代交代が進む中、生産性向上のためには生産現場のマネージャークラスの成長が欠かせないものと考え、実践的な教育プログラムの実施を当センターに依頼した。



before



〈2Sの一例〉



after

❖活用内容

当センターの中小企業診断士により以下の支援を実施した。

まず、社員ヒアリングやモラールサーベイ（社員の意識調査）を実施、組織上の課題を明確にした。その上で、焦点となる生産現場のミドルマネージャー 10名余りによる「改革プロジェクトチーム」を編成し、マネージャーに必要な基本知識の講座を実施。その後、改革のための重要課題として「報・連・相」「2S」「在庫削減」の3つのテーマを選定。3チームがPDCAサイクルを回し、実践の場で学びながらの改革アクションを進めているところである。各部署の整理整頓や連絡板の活用などの具体的な成果とともに、マネージャーのモチベーションやコミュニケーション、チーム力の向上といった効果が見られている。



ブラックフォーマル



🗨️ 利用された企業からの声

専務取締役 **大澤 晴彦** 氏

組織横断的なチーム編成により、全工場を対象に活動できました。掲示板の運用に工夫を凝らしたり場内スペースの整理を行ったりと、チーム以外の社員にも一目で分かる活動内容により、社内の意識も高まっています。今後はその活動の評価を数字でどう表すかという課題に取り組みたいと思います。